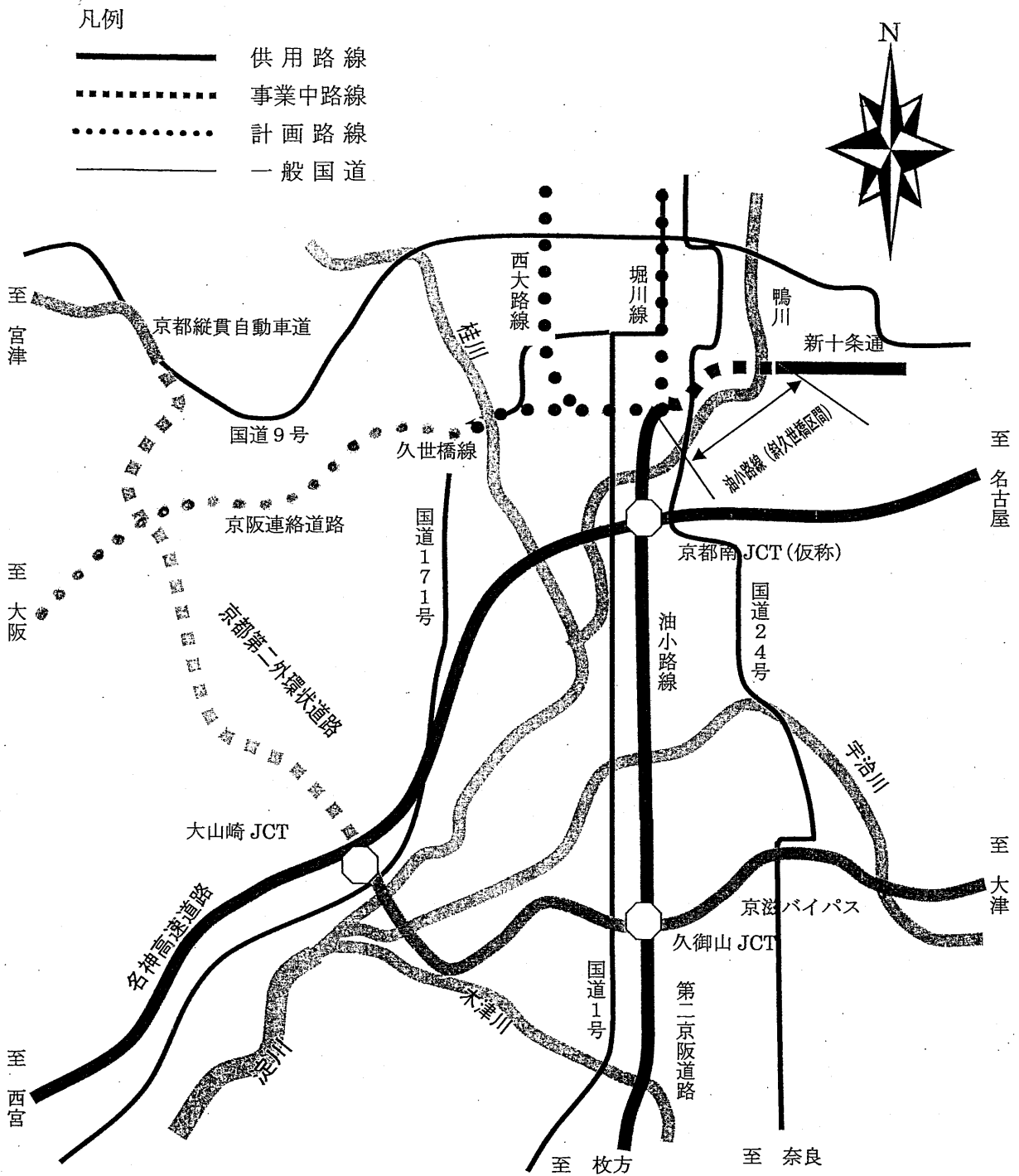


京都市域の高速道路ネットワーク図



(2009年6月1日現在 2009年度「建設局事務事業概要」より)

京都高速道路の総事業費は 約5800億円

●完成・工事中の2路線の総事業費だけで 約2900億円

新十条通	726億円
油小路線	692億円
同上(斜久世橋区間)	270億円
ランプ支援事業	312億円
関連街路事業・洛南連絡道路	910億円
小計	2910億円

●未着工3路線(堀川線・西大路線・久世橋線)の総事業費 2900億円

堀川線	1200億円
西大路線	1100億円
久世橋線	600億円
小計	2900億円

京都高速道路に伴う京都市の負担 700億円以上

●高速道路建設に伴う京都市の負担金 716億円

阪神道路公団等出資金	117億円
斜久世橋工区関連	56億円
ランプ支援事業	184億円
関連街路事業	169億円
洛南連絡道路	190億円
合計	716億円

京都高速道路の計画交通量、月別利用交通量

(1) 計画交通量について

(単位：台/日)

	斜久世橋区間開通まで			斜久世橋区間 開通時
	1年目	2年目	3年目	
油小路線	9,000	13,500	18,000	37,000
新十条通	10,000	15,000	20,000	23,000

(2) 月別利用状況について（開通から直近まで）

※阪神高速道路株式会社作成資料

(単位：台/日)

	油小路線	新十条通
平成20年1月20日 ～2月	7,300	—
3月	7,500	—
4月	7,100	—
5月	7,500	—
6月	6,700	2,100
7月	7,000	1,800
8月	7,100	1,700
9月	7,200	1,600
10月	7,400	1,600
11月	8,100	1,800
12月	7,800	1,800
平成21年1月	7,300	1,700
2月	7,500	1,700
3月	8,400	1,800
4月	8,300	1,800
5月	8,700	2,000
6月	8,500	1,800
7月	9,000	1,900
8月	9,500	2,000
9月	9,400	2,000
10月	9,200	1,900
11月	10,000	2,200
12月	9,700	2,100
平成22年1月	9,000	2,000
2月	9,400	2,000
3月	13,500	2,400
4月	16,300	2,400
5月	19,000	2,900
6月	15,700	2,400
7月	16,600	2,600
8月	18,100	2,800

※月別平均値の十の位を四捨五入して、百台単位で算出。

京都水族館計画についての主な経過

05年	12月	オリックス不動産が「構想」について京都市に打診。以後、実務レベルでの協議
06年	2月 7日	門川教育長(当時)が、公費で新江ノ島水族館を視察
08年	1月	門川市長のマニフェストに、「体験型の大型集客観光施設を誘致」とうたう
	7月 14日	オリックス不動産が京都市に「水族館整備構想」を正式提案
	16日	門川市長が「第三者機関・市民などの意見を聞き方針を決定したい」と表明
	9月 3日	第1回京都水族館(仮称)整備構想検討委員会(～第5回)
	19日	京都市と検討委員会の連名で「市民意見募集」(～10月21日) 「反対」が7割以上
	12月 15日	日本共産党市議団が「水族館構想を拙速にすすめるべきでない」と申し入れ
	24日	検討委員会が一定の条件を付して整備構想を容認する「答申」を市長に提出
09年	1月 27日	「未来まちづくりプラン」で「京都水族館(仮称)整備構想の推進」をうたう
	2月 23日	JR西日本が「(仮称)京都鉄道博物館整備構想」を発表
	5月 7日	オリックス不動産が埋蔵文化財試掘調査を実施(～5月19日)
	6月 11日	まちづくり消防委員会で「梅小路公園再整備の方向性(案)」が報告される
	7月 8日	オリックス不動産とJR西日本が水族館・鉄道博物館の「開発構想届」を連名で提出
	13日	「開発構想届」の公告縦覧開始(縦覧は8月3日まで、意見書提出は8月10日まで)
	16日	日本共産党市議団が「水族館建設そのものの是非を市民に問い直せ」と声明
	29日	オリックスによる初の「住民説明会」(梅小路小学校体育館)
	8月 10日	「開発構想届」に対する意見書の提出しめきり(186通が提出される)
	10月 23日	「梅小路公園の整備」に関する「二つの請願」が提出される
	11月 5日	水族館計画が国土交通省の「住宅・建築物省CO2推進モデル事業」に採択される
	12月 3日	まちづくり消防委員会で「請願」の審議が始まり、参考人招致についての提案も
	9日	意見書に対する事業者の「見解書」、「京都市の考え方」が示される
	11日	「梅小路公園に水族館はいらない」市民ネットワークの結成集会
	25日	オリックス不動産が「水族館の展示内容」を発表
10年	1月 6日	日本共産党市議団が「京都新聞」市民版に「意見広告」を掲載
	21日	まちづくり消防委員会 オリックスの参考人招致を否決/請願を採択
	30日	オリックス不動産による初の地元説明会
	2月 7日	「人間のくさり」が水族館建設予定地を包囲
	3月 6日	中高層条例にもとづく住民説明会
	18日	「梅小路公園の未来を考える会」が「対案」を提出
	22日	京都市・オリックス不動産による第1回地元説明会
	4月 23日	オリックス不動産が水族館の設置許可を申請
	25日	京都市・オリックス不動産による第2回地元説明会
	5月 14日	京都市が水族館の設置許可/市議団が抗議声明/「市民の会」がアピール発表
	6月 1日	オリックス不動産が水族館の建築確認を申請
	22日	水族館建設に反対する市民ら351人が設置許可に対する「異議申立書」を提出
	28日	京都弁護士会が水族館建設の再検討を求める「意見書」を提出
	7月 16日	京都市がオリックス不動産に水族館の建築確認済証を交付
	23日	水族館建設の工事が着工される
	8月 26日	まちづくり消防委員会で、七条入口広場の駐車場計画が撤回される
	9月 14日	周辺住民141人が建築確認の取り消しを求める審査請求を市建築審査会に提出
	29日	オリックス不動産が有識者による専門家委員会を設置
	11月 2日	「市民ウォッチャー・京都」が水族館の土地使用料減額分の返還を求め住民監査請求
	5日	市建築審査会の公開口頭審査が開かれる
	9日	「水族館の設置許可」取り消しを求め、地元住民らが門川市長を訴え

梅小路公園の再整備に関する整備スケジュール・検討状況

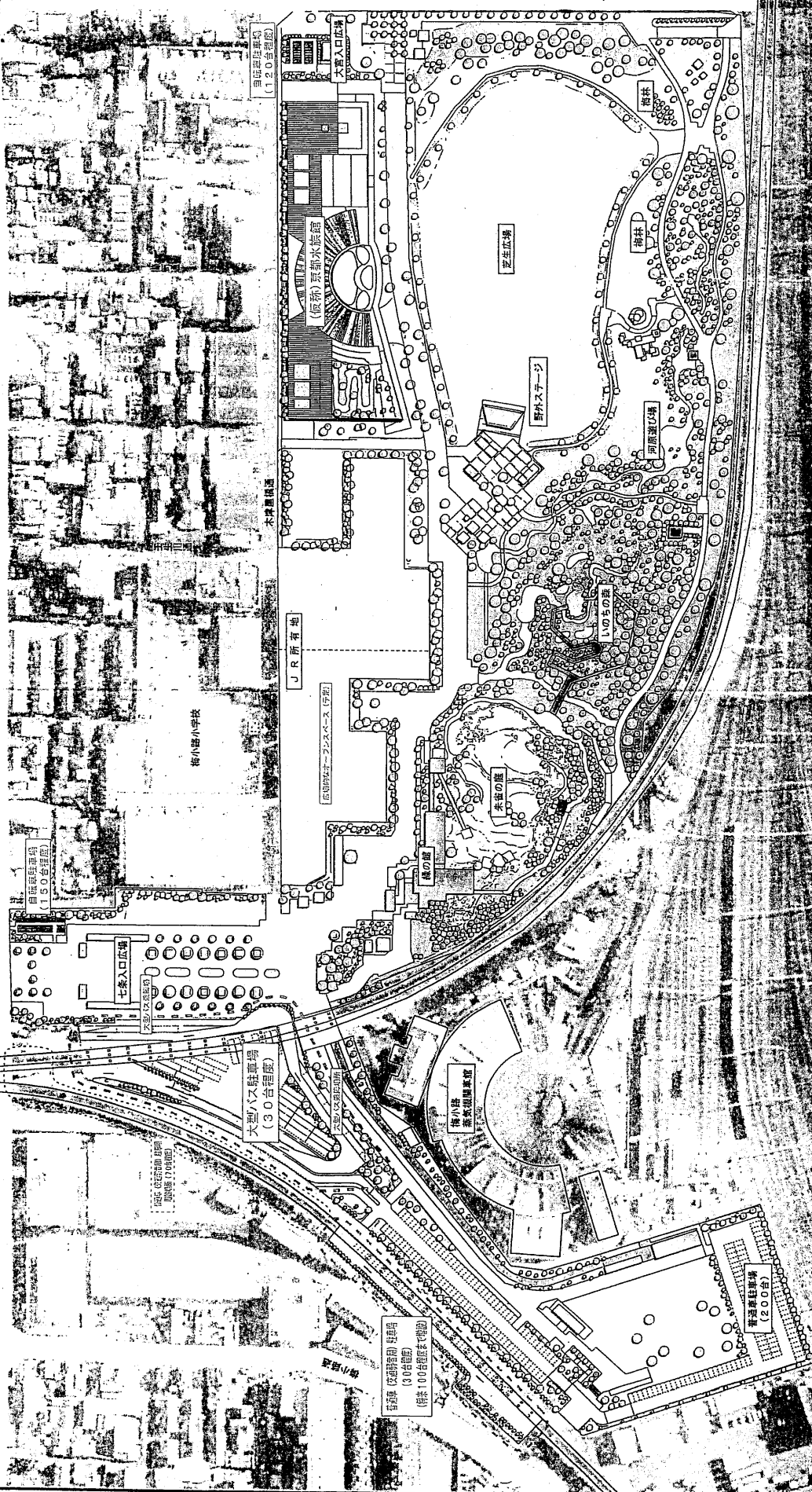
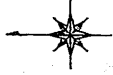
エリア	現用途	整備年度 (予定)	現時点の具体的な検討概要
①鉄道博物館	ふれあい広場, 普通車駐車場	25年度～ 26年度	鉄道博物館(公園施設)の整備を行う。
②大型バス駐車場 及び自転車駐車場	大型バス駐車場, 七条入口広場(一部)	23年度	大型バス駐車場部分を中心に大型バスの経路を設け, 大型バス駐車場約30台程度の確保のほか大型バス乗降場等の設置を検討。また, 七条入口広場の既存自転車駐車場の拡張整備(64台→約150台程度)。
③水族館及び大宮 入口広場	京神倉庫跡地, メイン園路北東側区域(一部)	(水族館) 22年度～ 23年度	水族館(公園施設)の整備を行う。
	大宮入口広場	(大宮入口 広場) 23年度	公園東側のメインエントランスとして大宮入口広場の再整備を行う。
(参考)普通車(交通弱者用)駐車場	JR山陰連絡線西側公園予定地, 同線高架下	23年度(30台程度) 25年度(70台程度)	交通弱者用駐車場として合計100台程度の新たな普通車駐車場の設置を検討する。

※JR西日本所有地(現社宅用地)において, 将来的に本市が借り受ける区域については, 基本的に広場的なオープンスペースとして使うこととし, 駐車場としての利用は行わないものとして検討を進めるが, JR西日本との今後の協議によるため, 整備年度等については, 未定。

(2010年9月 建設局資料)

梅小路公園再整備(案) (水族館開業時予想図)

府道楠津・東山・七条線 (七条通)



JR所蔵場のうち、本市が借り受けする区域は、基本的に広域的なオープンスペースとしての使い方を予定しており、駐車場としての利用は行いません。借入区域の具体的な面積及び位置については、今後の図面により決定します。

※今後の進捗により、計画内容が変更となる場合があります。